

カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

- 背部： を押すと背もたれ部が起き上がります。
 を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。
- 脚部： を押すと脚部が上がります。
 を押すと脚部が下がります。

2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて回転させ、お好みの状態(脚もみ、フットレスト)でお使いください。

3 自動 を押し、お好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

4 自動コースを選択すると、もみ玉が肩位置を自動的に検知します。

検知した肩位置は、**調節** を押して変更できます。



自動コースの種類

全身

全身のコリや疲れをやわらげるコースです。

肩

肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。

腰

腰のコリや疲れをやわらげるコースです。

ストレッチ

ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

- 調節** でお好みの高さに調節します。
- 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

- 肩** でお好みの強さに調節します。
- 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

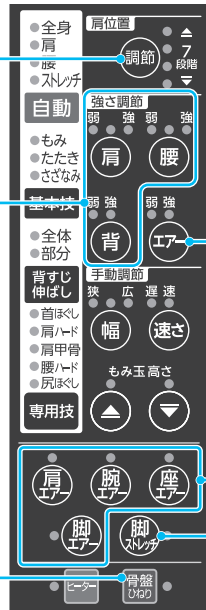
- 背** でお好みの強さに調節します。
- 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

- 腰** でお好みの強さに調節します。
- 腰強さは、5段階から選択できます。

骨盤ひねりを「入・切」したいとき

- 骨盤ひねり** を押します。
- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
 - ※ 座エアを「切」にすると、骨盤ひねりも同時に「切」に切り替わります。



エア強さを調節したいとき

- エア** でお好みの強さに調節します。
- エア強さは、2段階から選択できます。
 - ※ エアの強さ調節は、部位ごとに調節できません。

肩・腕・座・脚エアを「入・切」したいとき

- 肩** **腕** **座** **脚** エアを押します。
- それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
 - ※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エアを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

- 脚ストレッチ** を押します。
- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
 - ※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。
 - ※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エアを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ

強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア)
弱 1	○ ● ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ● ●	● ○
3	● ○ ● ● ●	○ ● ● ● ●
4	● ● ○ ● ●	○ ● ● ● ●
強 5	● ● ● ● ●	○ ● ● ● ●

○…点灯
●…消灯

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓「そく（塞）栓」症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。（詳しくは取扱説明書を参照）
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間使用しない。
- (14) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。